

- 歴史文書館へ行こう！ P1～2
- 津倉家住宅公開のお知らせ P3
- 旧赤松家記念館
「かすりの着物で写真撮影」参加者募集！ P4
- コラム『掛塚まつり』笹竹希美 P4

磐田市教育委員会教育部文化財課 令和4年10月3日発行

歴史文書館へ行こう！

歴史文書館ではこのたび、1階と2階で新たな展示が2つスタートしました。ぜひこの機会に、歴史文書館を訪れてみませんか。

磐田市岡 729-1 電話 0538-66-9112 FAX0538-66-9722
休館日 土・日・祝日・年末年始(12/29～1/3))
開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

やってみよう！

2階展示 こもんじよ 古文書を読もう —入門編～上級編—

古文書やくずし字の世界に触れてみませんか。初心者の方も楽しめる、くずし字の読解に挑戦できる展示です。問題は全部で10問です。古文書や磐田の歴史への興味や理解を深めるきっかけになれば幸いです。

■背景の絵柄がヒント！ きざみたばこ 刻煙草のパッケージ

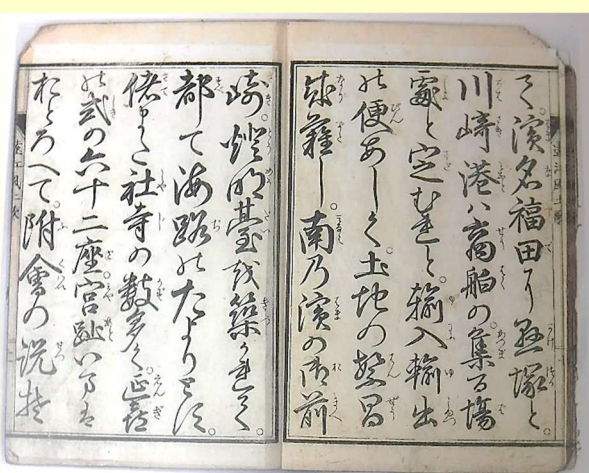
磐田市内では、江戸時代から煙草の栽培が始まり、高収入が見込めたことから、明治時代に入って栽培する農家が増えていきました。そして、この地方の煙草は「遠州葉」として知られるようになっていきます。

遠州葉の栽培が普及すると刻煙草の製造が見付を中心におこなわれるようになり、完成した刻煙草は、目をひくカラフルなパッケージやラベルに包まれ販売されました。

華やかなパッケージをヒントに、その商品名を読んでみませんか。



刻煙草のパッケージ



遠江風土歌

■ ふうどか 地名がヒント！ 遠江風土歌

遠江風土歌は、明治6年(1873)に刊行された往来物のひとつです。往来物とは、寺子屋や家庭などで使用された学習書のことです。

遠江風土歌には、その名の通り遠江各地の地名や名所などが書かれています。左の写真の中にも磐田の地名が2か所記されています。ぜひ、挑戦してみてください。

刻煙草のパッケージと遠江風土歌の地名の答えは、編集後記にあります。

祭りの季節がやってきた！

1階展示室 広報誌から見る市内の秋祭り

10月は遠州地方の各地で屋台祭りがおこなわれています。現在の磐田市や合併前の市町村発行の広報誌でも、祭りの様子を掲載してきました。市内の祭りを、広報誌を中心に紹介しています。

■広報誌を彩る祭りの風景

祭り装束に身を包み屋台をひく姿や神社前に集まっている姿など、広報誌を飾った熱気あふれる写真をお祭り毎に展示しています。



展示の様子
広報竜洋を彩った掛塚まつりの写真



広報ふくで平成7年11月号
セピア色の写真展と題し、昭和37年の屋台を写した写真が表紙を飾った。

ただいま出張展示中！

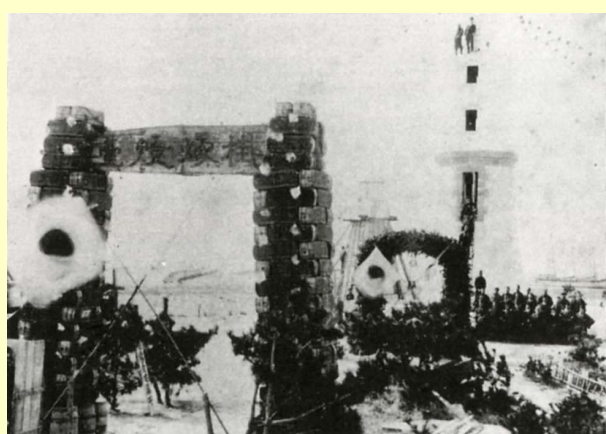
竜洋図書館入口前で展示をおこなっています

竜洋図書館の入口前に、展示スペースがあるのをご存知ですか。

この展示スペースでは、竜洋地区を中心にした展示をおこなっており、現在は、『写真で振り返る掛塚灯台の歴史～平成の灯台移設から二〇年を経て～』と題した展示をしています。



展示の様子



掛塚灯台落成式

明治30年（1897）に完成した官営の灯台の落成式の際の写真や、灯台を解体・移設している様子をとらえた写真などを展示しています。ぜひ、ご覧ください。

竜洋図書館（なぎの木会館内）

磐田市豊岡 6605-3 休館日 月曜・祝日

開館時間 午前9時30分～午後6時

※展示に関する問い合わせは、歴史文書館にお願いします。

津倉家住宅公開のお知らせ

今年も、明治22年（1889）に建てられた豪商・廻船問屋「津倉家」の見学会を開催します。

掛塚湊の繁栄の歴史を伝える貴重な文化財を、見学してみませんか。

- 日時 令和4年10月15日（土）・16日（日）
申込不要・見学無料
- 見学時間 9:00～16:00（入場は15:30まで）
- 駐車場 天竜川掛塚橋南側河川敷駐車場
（感染症の状況によって内容の変更・中止の可能性あります。）

津倉家とは

天竜川の河口に位置する掛塚は、その立地を生かし港として利用され、江戸時代には水運業の拠点として栄えました。津倉家は、江戸時代から材木商・両替商を営み、その後廻船問屋として天竜川上流の木材などの運搬に従事していました。明治時代には、掛塚の中でも有数の規模を誇る豪商でした。現在も残る主屋、隣接する昭和10年に建てられた洋室は、掛塚湊の歴史を今に伝える、磐田を代表する商人の屋敷として貴重な文化財です。

みどころ < 主屋 >

木造2階建ての瓦葺きで、正面（南側）は、1・2階共に格子窓が見られます。

また、1階正面は深い庇が設けられている点や、玄関を入ると広い土間がある点など、津倉家が店を営んでいた面影を感じられます。

< 増設した洋室 >



内部の様子



津倉家住宅外観



磐田市掛塚 1099



明治22年に建てられた主屋

洋間は、シノワズリ（西洋人の中華趣向）をテーマにしていると言われています。洋間が建てられた当時、東京などで流行していた「洋館付住宅」（和風住宅の一部を洋風にし応接間としたもの）を意識して増築したものと考えられます。

旧赤松家記念館 「かすりの着物で写真撮影」 参加者募集！



竹林を背景に記念撮影をする様子（昨年度撮影）

かすりの着物を着て、旧赤松家記念館を巡りながらお好きな場所で記念撮影をしてみませんか。

とき：令和4年11月12日（土）

1部 午前9時30分～午前10時30分／2部 午前10時45分～午前11時45分

ところ：旧赤松家記念館（見付3884-10）

対象：かすりの着物の着用は幼児～小学生（各部先着10人 合計20人）

写真撮影は保護者の方をお願いします。

申込み：10月1日（土）から

ハガキ、FAX または旧赤松家記念館に直接お申し込みください。①参加者氏名
②性別③学校（園）名④学年⑤服のサイズ⑥保護者の住所・氏名・電話番号

参加費：無料

その他：感染症の状況や悪天候によりイベントが中止となる場合があります。

問い合わせ・申込み先：〒438-0086 磐田市見付3884-10 旧赤松家記念館

TEL&FAX 0538-36-0340（月曜日・祝日の翌日休館）

職員リレー コラム

掛塚まつり

笹竹希美

私の祖父は、掛塚で生まれ育ち、祭りが大好きな人でした。祖父は数年前に他界しましたが、生前、自身が収集した資料を私に預けてくれました。最近になってその資料を整理したところ、「掛塚屋台囃子保存会」に関する新聞記事をはじめ、祭りや掛塚に関する資料や、祖父が撮影した写真などが出てきました。

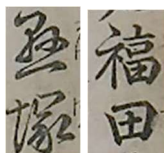
豪華絢爛な屋台とお囃子、大勢の人で賑わう貴船神社など、普段と違う掛塚の雰囲気を感じられる『お祭り』は、私にとっても様々な思い出があります。

その思い出の一つが「天幕」です。私が幼いころ、祖父の家に「天幕」が置かれていたことがあります。何となく近づいてはいけないような、触れてはいけないような輝きを放ち、少し離れた場所から、ただ眺めるだけ。金糸で刺繍された俵が、遠くからでもはっきりわかるように、光って見えました。恐らく、「天幕」を新調したときだったのでしょう。まだビニールがかかった状態でした。今でも、あの「天幕」を見ると、幼い日の感激と緊張感がたまらなく思い出されるのです。



祖父の撮影した掛塚まつり

編 【1P目答え】煙草のパッケージ『きく水』、
集 遠江風土歌に出てくる磐田の地名はいずれも
後 1行目に『福田』と『掛塚』。歴史文書館の
記 展示室でも是非挑戦してみてください！



発行：磐田市教育委員会 文化財課
（磐田市埋蔵文化財センター）
住所：〒438-0086 磐田市見付3678-1
電話：0538-32-9699
◆WEB版は市HPから閲覧できます。